

令和 6 年度 指定管理者点検結果

施 設 名	都市公園及び 深山センターハウス
所 在 地	市内一円
指 定 管 理 者	名 称 公益財団法人 玉野市公園緑化協会 代表者 理事長 市倉 勇樹 住 所 玉野市田井 2 丁目 4490 番地
指 定 期 間	令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 11 年 3 月 31 日（5 年間）
担 当 部 課	玉野市建設部都市計画課 電 話 0863-32-5538 E-mail toshikeikaku@city.lg.jp

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
・都市公園及び深山センターハウスの管理に関する基本協定書、仕様書の規定に基づき、指定管理業務の点検を行った ・指定管理者制度の目的である利用者へのサービス向上を図る一方で、経費の節減にも努めていた ・利用者が安心して親しみをもって利用できる公園の管理運営を行うため、職員の専門性等、資質の向上が図られていた。Instagramを活用し、深山公園の季節の見頃の草花の紹介や各種イベント等の広報を通じて、深山公園の魅力向上に努めた ・深山公園をはじめ、市内 149 箇所の公園緑地に対する市民ニーズに的確に対応するため、地元コミュニティを含めた連携が図られていることを確認した ・深山センターハウスの管理においては、常に、利用者が安全快適に利用できるよう清掃及び施設・設備の保守点検に努めていた ・深山さくらまつりやローズフェアなどのイベントを開催し、深山公園の魅力向上に努めていた	A

■「総合評価」の評価基準

- S（優 良） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上であり、かつ S が 2 つ以上である。
- A（良 好） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上である。
- B（課題含） 次の 3 項目の評価結果に B が含まれている。
- C（要改善） 次の 3 項目の評価結果に C が含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
【適切な施設管理の履行】 ・市内の公園施設は、幅広い年代の不特定多数が利用することから常に誰もが安心して利用できるよう徹底した施設の維持管理が行われていた ・地元コミュニティ等と連携し公園の安全性の確保に努めていた 【法令等の遵守】 ・施設の管理運営、職員の労務管理等、関係法令に基づき業務全般を実施していた 【安全性の確保】 ・公園施設の定期的な点検・監視により整備不良箇所の早期発見と修繕に努めていた 【財産の適切な管理】 ・基本財産（資本金）については、確実かつ有利な方法で保管されていた 【利用状況】 ・夏場の猛暑の影響により利用者が前年度より減少したが、深山まつりやイギリス庭園でのローズフェアなどのイベントの開催や、インスタグラムによる公園の魅力発信により、多くの来園者が訪れた 【コスト削減への方策】 ・施設管理に当たっては、技術経験者の活用を図り、直営作業と業者委託、さらにボランティアの活用などにより、効率的な業務の推進と経費の節減に努めている	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	評 価 結 果
・インスタグラム等を利用して、利用者に対して公園の魅力を最大限にPRするとともに、公園の美化や安全確保を図り、憩いと安らぎを求める利用者が安全・安心して利用できるよう、質の高いサービス提供に努めていた	A
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
・公益財団法人の基本理念に則り、良好な経営状態となっていることを確認した	A

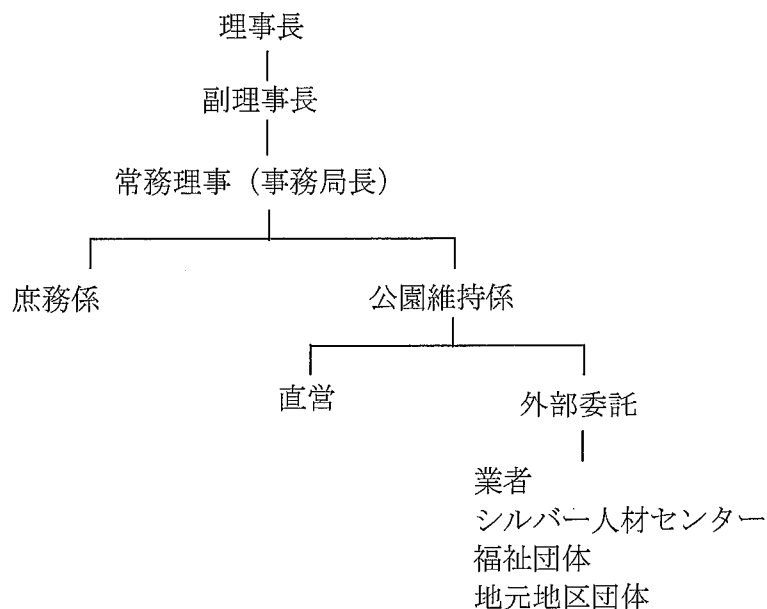
■「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

I 業務の実施状況に関する事項

1 管理体制の状況

(1) 指定管理業務の実施体制図（外部委託先を含む）



(2) 人員配置状況

(令和7年3月31日現在)

	職 名	人 数	備 考
事 務 局	事務局長	1 名	常務理事兼務
	事務職員	1 名	庶務係
	技術職員	2 名	公園維持係
	嘱託職員（事務員）	1 名	庶務係
	臨時職員（事務員）	1 名	庶務係
施設管理	臨時職員（作業員）	9 名	公園維持
	パート雇用（事務員）	5 名	イギリス庭園、ミニパター・ドッグラン受付
合 計		20 名	

2 施設・設備の維持管理業務の実施状況

① みやま公園及び市内公園緑地の維持管理業務

民間業者、シルバー、福祉事業者、地元等に年間の維持管理を委託するとともに、遊具等の保守点検を定期的実施した。遊具点検では、4月にわんぱく広場の遊具で事故があったことから、急遽遊具、ベンチ等が設置されている市内各公園緑地129箇所を直営で点検し、計29基を使用禁止とした。その後、順次修繕を実施し、14基を解放した。

さらに、日本公園施設業協会（JPF A）基準の公園施設製品安全管理士有資格者による点検を業者委託し、玉野市都市計画課及び業者と協議した結果、現在319基中31基を使用禁止とした。

- ② 清掃業務
民間業者に委託し、日常清掃として便所及びロビーを年55回、定期清掃として事務所・研修室等のガラス清掃及び床面のワックス塗布等を年2～3回実施した。
- ③ 警備業務
民間業者に夜間警備を委託し、施設・設備の保安管理を実施した。
- ④ 自家用電気工作物保安管理業務
中国電気保安協会に保安管理を委託し、自家用電気工作物の保守点検を年6回実施した。
- ⑤ 自動扉保守管理
民間業者に保守管理を委託し、自動扉の保守点検を年3回実施した。

Ⅱ 施設の利用状況に関する事項

1 施設・設備の利用状況

施設名	利用者数(人)
みやま公園	1,675,508
深山イギリス庭園	14,589
ミニパターゴルフ場	7,268
研修室	3,162
会議室	19

Ⅲ 自主企画事業の実施に関する事項(協定書に追加した事項等)

1 イベント名、内容、参加者数、収支状況等

イベント名	参加者数(人)	開催日
深山さくらまつり	105,570	令和6年3月30日～4月14日
園芸教室 ハンギング ハーバリウム作り 苔玉作り クリスマスリース作り	15	令和6年4月13日
	13	令和6年6月23日
	11	令和6年10月27日
	31	令和6年12月8日
薬草教室	100	令和6年4月29日
深山イギリス庭園とパン工房 のローズフェア	276	令和6年5月19日
イギリスフェア	0	中止
岡山県立興陽高等学校制作展	668	令和6年10月5日
遊んで学べる水族館 in みや ま公園	1,800	令和6年11月2日～11月4日 (2日雨天のため中止)
山陽新聞カルチャープラザ 「基礎から学ぶバラ講座」	9期生 115	令和5年12月～令和7年2月 (全6回) 終了
	おさらい 66	令和6年 5月～令和7年2月 (全4回) 終了
	10期生 38	令和6年12月～令和8年2月 (全6回) 開催中
ボトルアレンジメント フラワー講座(年11回)	33	令和6年4月～令和7年3月
Miyama cafe PUTT オープ ニングコラボイベント	776	令和6年4月1日～4月30日

アンデス民族音楽	0	令和6年6月9日 雨天中止
風鈴（夏休みガラス制作体験）	28	令和6年8月10日～8月12日
クラシックカー展示	63	令和6年9月29日
秋の薬草教室	50	令和6年10月20日
やまおとフェスティバル	1,000	令和6年10月27日
遊んで学べる水族館 in みやま公園	2,400	令和7年3月20日、22日、23日
Miyama cafe PUTT コラボミ モザリース作り	21	令和7年3月8日

IV 料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

1 利用料金の収入及び減免の状況

(1) 利用料金の収入総額、各施設、設備ごとの収入額等

施設名	収入額(円)
深山イギリス庭園	1,910,620
ミニパターゴルフ場	2,465,300
研修室	355,000
合 計	4,730,920

(2) 減免の総額、各施設、設備ごとの内訳、減免理由等

施設名	減免総額(円)	減免理由等
深山イギリス庭園	112,700	Miyama cafe PUTT オープニングイベント
ミニパターゴルフ場	51,100	はちはま子ども楽級、うの子ども楽級 玉野高等学校
研修室	1,500	玉野ハイキング同好会
減 免 総 額 合 計	165,300	

2 管理に係る収支の状況

(1) 収入

項目	金額(円)	備 考
利用料収入	4,320,000	ドッグラン、レンタサイクル
指定管理料収入	123,212,000	公園管理事業収入
その他収入	2,559,480	受取助成金、自動販売機等
収入合計	130,091,480	

(2) 支出

項目	金額(円)	備 考
人件費	59,026,241	給料、賃金等

光熱水費	10,286,289	電気、水道等
委託費	42,294,195	公園・便所管理等
事務費	2,584,160	消耗品、消耗什器備品費、通信運搬費等
原材料費	1,039,242	花苗・真砂土等
修繕費	1,292,870	公園施設修繕等
保険料	728,046	指定管理者賠償責任保険料等
租税公課	6,278,170	消費税、自動車税等
その他	2,205,970	賃借料、手数料等
支出合計	125,735,183	

V 自己点検結果

都市公園及び深山センターハウスの管理に関する基本協定書、仕様書の規定に基づき、指定管理業務を行った。

令和6年4月8日（月）親子が、わんぱく広場の遊具（木製ステップ）で遊んでいる際、木製ステップが腐食していたことで折れ、父親が肘から落下し、怪我をする事故が発生したため、現場を確認後、当該遊具を一時使用禁止とし、玉野市都市計画課と協議を行い、直営で撤去した。特に遊具に対しは注視した。その後に於いては、深山公園をはじめ、市内149箇所の公園緑地の管理にあっては、常に公園緑地の美化、安全確保に努めるとともに質の高いサービスの提供を目指し各公園・緑地を巡回するなど、来園者が心地よく安心して利用できるよう維持管理を徹底した。また、深山センターハウスの管理においても、常に利用者が安全快適に利用できるよう清掃及び施設・設備の保守点検に努めた。年間を通じて市民ニーズへの的確な対応と深山公園の魅力向上に向け、市はもとより、地元コミュニティ、道の駅みやま、市内事業者、マスコミ各社等々関係機関との連携を図りながら業務遂行に努めた。

「総合カレッジ事業」として、花や木に対する知識を学ぶ機会を提供するため、各種講座を開催するとともに、来園者に憩いと安らぎを提供するイベント等を予定・実施した。更に民間事業者、団体、個人等の市民主導によるイベントにも積極的に協力し、深山公園の魅力向上を図った。

総括としてこれらの実績も踏まえ、令和6年度の指定管理業務については概ね十分な成果をあげることができたものと考えており、引き続き事案毎の速やかな対応に努めるとともに公園利用者のニーズの把握を進め快適で安全安心な公園・緑地の維持管理を図るものとする。

VI 経費節減・サービス向上に関する取組み

市からの公園管理事業収益に頼るだけでなく、本年度及び次年度以降の自主事業拡大を目指し計画を進めた。物品販売の充実、レンタサイクル事業の自転車台数の見直し及び料金の改定、自動販売機の販売手数料見直し及び新設（みやま公園2カ所、市内公園4カ所）、試験的な事業として、わんぱく広場でキッチンカーを利用した販売事業を開始した。

国、県の助成金を活用し、緑の募金事業（131,000 円）、キャリアアップ助成金（585,000 円賃金規定等改定コース、400,000 正社員化コース）人材開発支援助成金（79,200 円人材開発支援助成金）を「受取補助金等」とし、合計 1 1 9 万 5, 2 0 0 円を支給額であった。

令和6年度 指定管理者自己点検結果

点 検 日	令和7年 6月 1日 (1回目)
施 設 名	都市公園及び深山センターハウス
所 在 地	市内一円
指 定 管 理 者	名 称 公益財団法人玉野市公園緑化協会 代表者 理事長 市倉 勇樹 住 所 玉野市田井2丁目4490番地
指 定 期 間	令和6年 4月 1日 ～ 令和11年 3月31日 (5年間)
担 当	公益財団法人玉野市公園緑化協会 電 話 0.863-21-2860 E-mail miyama@tamano.or.jp

評価内容の総括	総合評価
都市公園及び深山センターハウスの管理に関する基本協定書、仕様書の規定に基づき、指定管理業務を行った。 令和6年4月8日(月)親子が、わんぱく広場の遊具(木製ステップ)で遊んでいる際、木製ステップが腐食していたことで折れ、父親が肘から落下し、怪我をする事故が発生したため、現場を確認後、当該遊具を一時使用禁止とし、玉野市都市計画課と協議を行い、直営で撤去した。特に遊具に対しては注視した。その後には、深山公園をはじめ、市内149箇所の公園緑地の管理にあつては、常に公園緑地の美化、安全確保に努めるとともに質の高いサービスの提供を目指し各公園・緑地を巡回するなど、来園者が心地よく安心して利用できるよう維持管理を徹底した。また、深山センターハウスの管理においても、常に利用者が安全快適に利用できるよう清掃及び施設・設備の保守点検に努めた。年間を通じて市民ニーズへの的確な対応と深山公園の魅力向上に向け、市はもとより、地元コミュニティ、道の駅みやま、市内事業者、マスコミ各社等々関係機関との連携を図りながら業務遂行に努めた。 「総合カレッジ事業」として、花や木に対する知識を学ぶ機会を提供するため、各種講座を開催するとともに、来園者に憩いと安らぎを提供するイベント等を予定・実施した。更に民間事業者、団体、個人等の市民主導によるイベントにも積極的に協力し、深山公園の魅力向上を図った。 総括としてこれらの実績も踏まえ、令和6年度の指定管理業務については概ね十分な成果をあげることができたものと考えており、引き続き事案毎の速やかな対応に努めるとともに公園利用者のニーズの把握を進め快適で安全安心な公園・緑地の維持管	A

理を図るものとする。

■「総合評価」の評価基準

S（優 良） 次の3項目の評価結果が全てA以上であり、かつSが2つ以上である。

A（良 好） 次の3項目の評価結果が全てA以上である。

B（課題含） 次の3項目の評価結果にBが含まれている。

C（要改善） 次の3項目の評価結果にCが含まれている。

① 業務の実施状況	評価結果
【適切な施設管理の履行】 市内149箇所の公園、緑地を巡回し、適切な管理に努めた。殆どの公園が災害時の避難場所として指定されているため、車止め等がスムーズに取り外しできるような点検を行い、不法占用の有無を確認し、防災公園としての役割が果たせるよう管理した。 深山センターハウスの管理では、清掃及び施設・設備の保守点検を徹底し、利用者が年間を通じて安全快適に利用できるよう努めた。 【法令等の遵守】 運営・労務・個人情報保護等に関する関係法令はもとより、事業の関連法令である都市公園法や玉野市都市公園条例等を遵守し業務を遂行した。 【安全性の確保】 4月にわんぱく広場の遊具で事故があったことから、急遽遊具、ベンチ等が設置されている市内各公園緑地129箇所を直営で点検し、計29基を使用禁止とした。その後、順次修繕を実施し、14基を解放した。また、遊具点検では、日本公園施設業協会（J P F A）基準の公園施設製品安全管理士有資格者による点検を業者委託し、玉野市都市計画課及び業者と協議した結果、現在319基中31基を使用禁止としている。 【財産の適切な管理】 施設の維持管理及び備品の管理にあつては、適切な管理を行っており、良好な状態である。 【利用状況】 深山公園の利用状況は、令和6年度の利用者数約167万5,000人で、前年度比約3万3,000人の減となっている。要因としては、猛暑の影響が多である。 【コスト削減への方策】 市からの公園管理事業収益に頼るだけでなく、本年度及び次年度以降の自主事業拡大を目指し計画を進めた。物品販売の充実、レンタサイクル事業の自転車台数の見直し及び料金の改定、自動販売機の販売手数料見直し及び新設（みやま公園2カ	A

所、市内公園４カ所)、試験的な事業として、わんぱく広場でキッチンカーを利用した販売事業を開始した。 国、県の助成金を活用し、緑の募金事業（131,000 円）、キャリアアップ助成金（585,000 円賃金規定等改定コース、400,000 円正社員化コース）人材開発支援助成金（79,200 円人材開発支援助成金）を「受取補助金等」とし、合計１１９万５,２００円の支給があった。	
② サービス向上への取り組み	評価結果
市内公園緑地の美化、安全確保に努めることはもとより、職員一丸となり、年間を通じてサービスの向上に取り組み、憩いと安らぎを求める市民が安心安全かつ気軽に公園を利用できるよう快適で質の高いサービスの提供に努めた。	A
③ 団体の経営状態（経営の健全性）	評価結果
公益財団法人の基本理念に基づく県の指導に従いながら運営の便益事業収入総額を運営経費に充当するなど堅実かつ計画的で健全な状態にある。	A

■「評価結果」の評価基準

- S（優良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。